

変動型最低制限価格の算出方法について【電子入札】

天理市上下水道局

あらかじめ公表している税抜き予定価格に変動係数を掛け、千円未満切り捨てた金額が変動型による税抜き最低制限価格となります。

$$\text{【税抜き予定価格】} \times \text{【変動係数】} = \text{変動型最低制限価格（千円未満切り捨て）}$$

変動係数の決定方法は、次のとおりです。

- くじ入力番号①と乱数値②を足した値③の下3桁をくじ番号④とする。
- 応札者のくじ番号④を合計⑤します。
- 合計⑤を変動係数のパターン数(固定値)⑥で割ったときの余りの数字に対応した係数が、本入札における変動係数となります。

応札業者	くじ入力番号	乱数値	計	くじ番号
	①	②	③	④
	応札時に業者が入力	システムによるランダム係数	①+②	③の下3桁
A社	123	456	579	579
B社	111	555	666	666
C社	585	589	1,174	174
D社	454	164	618	618
E社	222	853	1,075	75
[合計]				2,112 … ⑤

$$2,112 \text{ ⑤} \div 10 \text{ ⑥} = 411 \text{ 余り } 2$$

【変動係数と余りの対応表】

変動係数	余り
0.891	0
0.892	1
<u>0.893</u>	<u>2</u>
0.894	3
0.895	4
0.896	5
0.897	6
0.898	7
0.899	8
0.900	9

【変動係数と余りの対応表】により、変動係数は0.893となります。

変動係数のパターン数(固定値) 10通り … ⑥